

ガイド

バング & オルフセンミュージックシステムのご紹介、 4

ミュージックシステム全体、操作パネル上のボタン、ディスプレイ情報を理解し、実際にディスプレイ情報を変更。

日常の使用、 9

ミュージックシステムの使い方、CD メモリーから音楽を再生、CD プレーヤーとラジオの使い方、Beo4 リモコンの使い方について。

より複雑な操作、 15

より複雑な操作；お気に入りの CD トラックのみを再生、ランダムおよびリピート機能の使用、CD メモリーに CD をコピーおよび保存、CD メモリーグループ・CD ・ラジオ局のネーミング。さらに、CD メモリーの編集のしかたについて；コピー・移動・削除、タイマーによるミュージックシステムのスタート・停止、AV システムの操作法。

設置、接続、メンテナンス、 27

ミュージックシステムの設置、接続、構成のしかた。ビデオシステムへのミュージックシステムの接続のしかた、ミュージックシステムおよび CD のお手入れのしかた、Beo4 の電池交換のしかた。CD メモリーについての説明。

ラジオの調整およびプリファレンス設定、 33

ラジオ局の合わせ方、音声・時計の調節、PIN コードシステムの起動および PIN 入力、製品を操作するための Beo4 の構成、その他『ボタン』を Beo4 に追加。

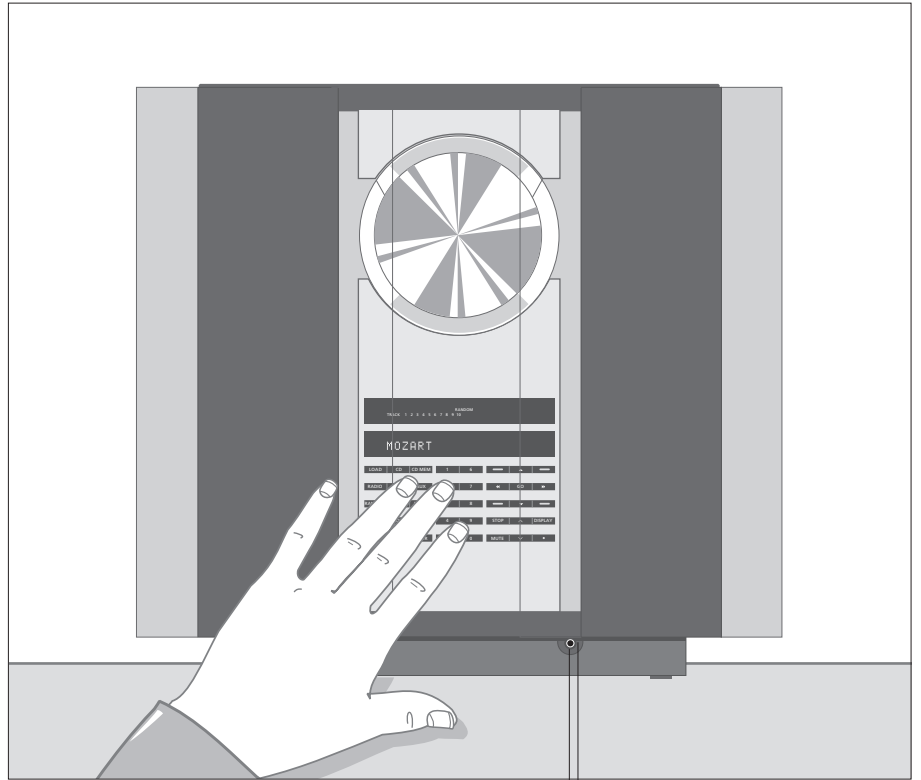
索引、 42

詳しく知りたい内容を検索。

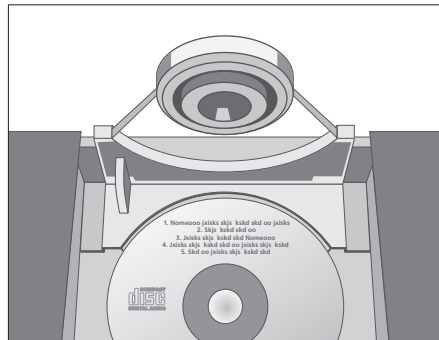
お手持ちのミュージックシステムのご紹介

BeoSound に触れようとするとうガラスの扉が自動的に開き、ミュージックシステムが現れます。

ミュージックシステムでラジオを聴き、シングル CD を再生し、CD メモリーからの音楽をお楽しみください。



ヘッドフォン用ソケット。ヘッドフォンが差し込まれると、ミュージックシステムに接続されたスピーカーは消音されます。



LOAD ボタンを押して、CD を正しい位置で支えるクランプを上昇させます。

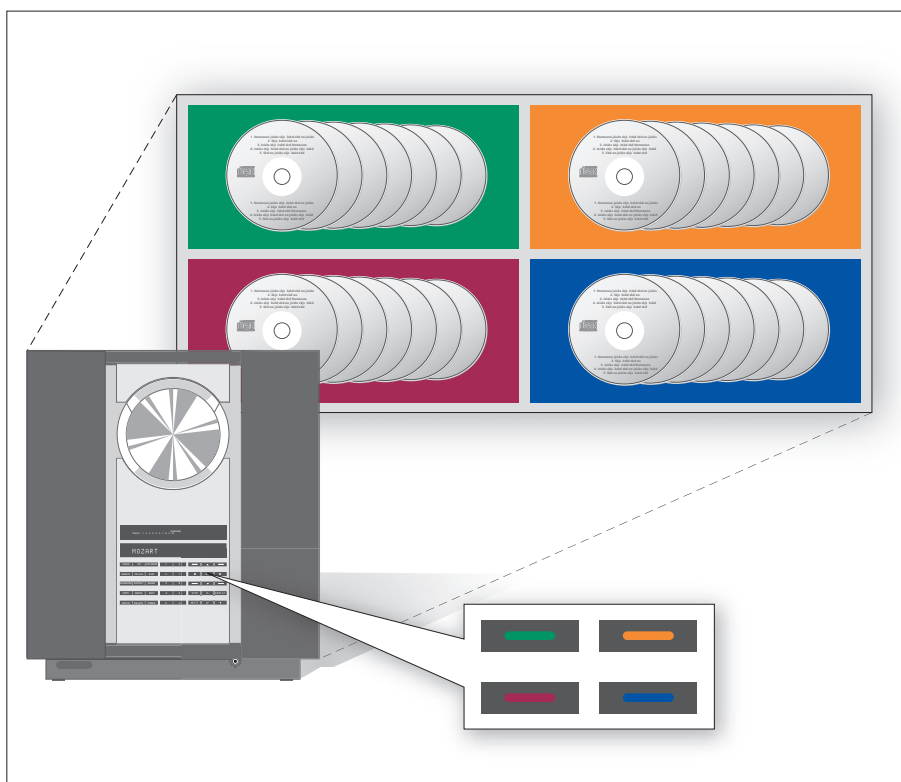
これで CD を取り外したり、再生したい CD をセットすることができます。必ず CD のレーベルが見えるようにセットしてください。

再度 LOAD を押し、クランプを下降させます。CD を押しすと、クランプは自動的に下降し、再生を開始します。

CD メモリーを使用すると CD に含まれる各曲をミュージックシステムに保存することができます。4つのグループにそれぞれ CD を最高 99 枚まで保存することができます。もう CD を 1 枚 1 枚探したりセットする必要がなく、プレーヤーに保存された CD コレクションのすべてに迅速にアクセスすることができます。

一旦 CD がメモリーにコピーされたら、もう CD をどこか見えないところへ片付けてしてしまっても構いません。

CD メモリーグループの管理のしかたはこのガイドに含まれている小冊子をご覧ください；各グループは異なる色のボタンで識別され、グループ・CD・トラックにはそれぞれ名前を入力する欄が設けられています。



4色のボタンはそれぞれCDメモリーグループを表します。

メモリーグループ

CD をコピーする場合、CD メモリーに作られた 4 つのグループの中の 1 つ以上に CD の内容を保存しなければなりません。4 つのグループは操作パネル上に 4 色のカラーボタン；グリーン、イエロー、レッド、ブルーで表示され、P20 の説明に従ってグループに名前を付けない限り、ディスプレイにも色の名前が表示されます。

ネーミングおよび管理

各グループには名前を付け、独自の構成で管理することができます。すべての CD を一つのグループに保存することも、例えばジャンル別などに分類して異なるグループに保存し、それぞれに名前を付けることもできます：ポップ、ブルース、その他。また家族各々に割り当てて、例えば：マイミュージック、お母さん、ピーターなどとして使用することもできます。使い方は自由です。

クローズアップ操作パネルおよびディスプレイ

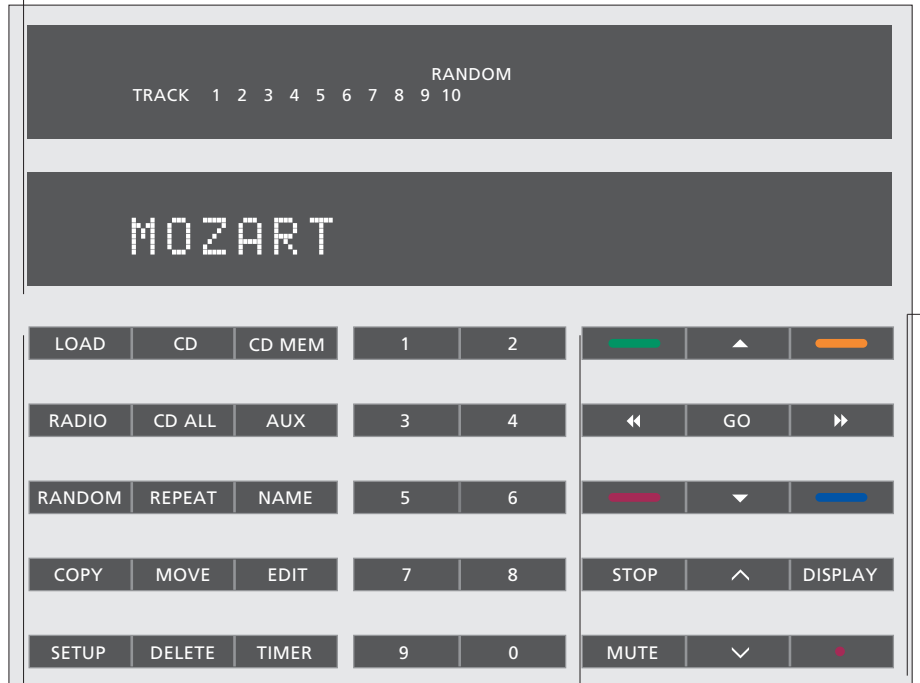
各ボタンはそれぞれ別の機能を持っており、システムの操作中にパネルで簡単に操作することができます。

ミュージックシステム上のディスプレイには様々な情報が表示されます。表示させたい情報の種類を選択します。

ディスプレイ

ディスプレイにはシステムが現在行っていることが表示されます。ディスプレイ上段には、例えばトラック番号など CD プレーヤーの機能に関連した情報を表示します。

ディスプレイ下段には、例えば現在聴いているラジオ局や CD メモリーグループ名が表示されます。設定やプログラミングを行う手順なども表示されます。



ソースボタンおよび CD メモリー機能

このボタングループで音楽ソース・設定・再生・タイマー機能へのアクセスが得られます。

番号ボタン

番号ボタンを使って他の局番、CD のトラック、CD メモリー内の CD やトラックの選択を行うことができます。

ディスプレイに表示する情報を変更

ラジオ、CD プレーヤー、CD メモリーのいずれかがオンになっているときに、DISPLAY を繰り返し押すと、異なるタイプの情報が得られます。



『クラシック』と名付けられたラジオ局がかかっています。



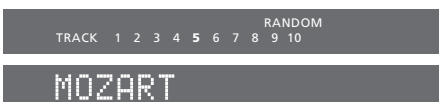
CD がスキャンされると、各トラックのイントロ部分が 15 秒間再生されます。現在再生されているのはトラック番号 5 です。



現在聴いているラジオ局の周波数は FM 94.6 です。



この CD は編集されており、再生しないトラックや繰り返されるトラックがあります。現在聴いているトラックの再生は 2 分 15 秒経過しました。



『モーツァルト』と名付けられた CD には 10 トラック含まれており、ランダムに再生されます。



現在、グリーン色の CD メモリーグループに保存された CD 番号 12 のトラック番号 15 を再生中です。

基本機能

パネルの右側にあるボタンで、基本的な機能すべてにアクセスすることができます：システムのスィッチをオン/オフ、音量調節、消音、ラジオ・CD プレーヤー・CD メモリーの操作。

ラジオには 3 つの表示設定ができます：

- 1 ラジオ 局名
- 2 ラジオ局番
- 3 ラジオ周波数

CD プレーヤーには 3 つの表示設定ができます：

- 1 CD 名
- 2 トラック番号
- 3 聴いている CD の経過時間

CD メモリーには 2 つの表示設定ができます：

- 1 グループ名、その後 CD 名を表示
- 2 グループ、CD 番号、トラック番号

この章ではお手持ちのミュージックシステムの基本機能について説明します。CD メモリーや CD からの再生のしかた、ラジオの使い方、Beo4 リモコンの使い方をご覧ください。

CD を CD メモリーへコピーする方法などより複雑な操作に関しては、P15 から始まる次の章『より複雑な操作』をご覧ください。

この機能を初めて使うとき、PIN が表示されます。Bang & Olufsen から PIN コードを入手していない場合は、販売店にご連絡いただき、PIN コードを入手してください。PIN コード機能の詳細については、38 ページの「PIN コードの設定と入力」の章を参照してください。

CD メモリーからの再生のしかた、10

- CD メモリーの再生
- 特定のグループ、CD、トラックの再生

CD プレーヤーの使い方、11

- CD の再生

ラジオの使い方、12

- ラジオのスイッチをオン

Beo4 リモコンの使い方、13

CD メモリーからの再生のしかた


一旦 CD が CD メモリーにコピーされると、削除するまでそのまま保存されます。すべてのミュージック CD を簡単に再生することができます。


CD メモリーのスイッチをオンにすると、最後に再生したグループおよび CD の再生を開始します。それから、グループ内の他の CD やトラック、他のグループ、あるいは他のグループ内の特定の CD を選択することができます。グループを稼働させるには、クローズアップ操作パネル上の対応するボタンを押します。グループは色で識別されます：初期設定はグリーン、イエロー、レッド、ブルーですが、グループに名前を付けることも可能です。詳しくは P19 をご覧ください。


特別に選択しない限り、CD メモリーから 12 時間連続再生を行います。


CD メモリーの再生

押して最後に聴いたグループの CD を再生します **CD MEM**



押してグリーンに保存された CD を再生します 



押してイエローに保存された CD を再生します 

押してレッドに保存された CD を再生します 

押してブルーに保存された CD を再生します 

選択したグループ内に CD が保存されていない場合、ディスプレイに EMPTY と表示されます **EMPTY**



押してグループ内の次の CD へ移るか、または... 
押してグループ内の前の CD へ移ります 

押して次のトラックを再生するか、または... 
押して前のトラックを再生します 

押して再生を一時停止します **STOP**

押して再生を再開します **GO**

音量調節...





押して音量を調節します 


押すと完全に消音し、再度押すとサウンドを復活させます **MUTE**



押してスタンバイモードにします 

特定のグループ、CD、トラックの再生


押して最後に聴いたグループの CD を再生します **CD MEM**

押して聴きたいグループを選択します  
 

グループ内の特定の CD 番号を入力するか、または... **1-9**

押して CD 間を移動します  

GO を押し、特定のトラック番号を入力するか、または... **GO**
1-9

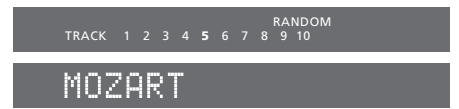
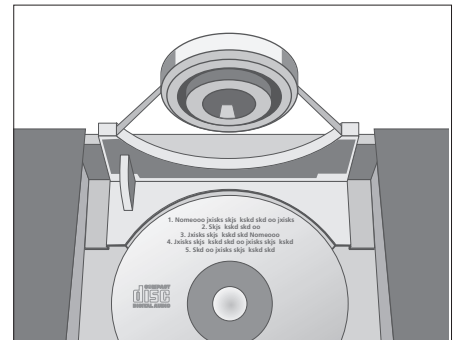
押して次のトラックへ移ります 
押して前のトラックへ移ります 

セットされた CD を再生する前に、トラック数など CD に含まれているすべての情報が登録されます。それから CD の再生が開始されます。特別に設定しない限り、CD 全体の再生を行います。

ディスプレイには常に CD プレーヤーの再生内容が表示されます。ディスプレイには設定されたモードにより、トラック番号またはトラックの時間が表示されます。CD に名前を付けてある場合、ディスプレイに名前も表示されます*。

CD の再生

- 押してセットされた CD を再生します **CD**
- 押して特定のトラック番号を再生します **0-9**
- 押して次のトラックを再生します ▲
- 押して前のトラックを再生します ▼
- 押して再生を一時停止します **STOP**
- 押して再生を再開します **GO**
- 押して CD の後方に向かって検索を行います ►►
- 押して CD の前方に向かって検索を行います - 希望するトラックに達するまでボタンを押し続けます ◀◀
- 音量調節...**
- 押して音量を調節します ^
- ▼
- 押すと完全に消音し、再度押すとサウンドを復活させます **MUTE**



再生中の CD には『モーツァルト』という名前が付いています。トラックはランダムに再生されています。

ご注意！ BeoSound 3200 を使用しないまま 30 分間経過するとスタンバイに切り替わります。* ディスプレーに CD の名前を表示するように設定してあると、ディスプレイには名前だけが表示され、経過時間を見ることはできません。各ディスプレイモードに関しては P7 をご覧ください。

ラジオの使い方

ラジオを聴くにはまずラジオ局の周波数を探し、保存しなければなりません。

ミュージックシステムにはラジオ局を最高 60 局まで保存することができます。さらに詳しい情報は P34 の『ラジオ局の調整』をご覧ください。

ラジオのスイッチをオン

押してラジオのスイッチをオンにします **RADIO**

保存された局を選択するには番号 0-9 キーを使います

保存された局を次々に換えていきます ▲ ▼

スタンバイに切り換えます •

0 を押すと現在と前のラジオ局の切り換えを行います。

音量調節...

押して音量を調節します ^ v

押して完全に消音します。再度押してサウンドを復活させます **MUTE**



ラジオプログラム 3 を聴いています。

基本的にクローズアップ操作にデザインされていますが、ミュージックシステムを遠隔操作することも可能です。Beo4 リモコンでBang & Olufsen製品の基本操作すべてを行うことができます。

Beo4 でスイッチのオン/オフ、ラジオ局や CD トラックの選択を行うことができます。また、CD プレーヤーのランダムやリピート再生機能をオンにしたり、音量調節をすることができます。

ミュージックシステムを他のBang & Olufsen製品と併用される場合、それらの製品に添付されているガイドで詳細をご覧ください。



- | | |
|---------------|---|
| RADIO | ラジオのスイッチをオン |
| CD | CD プレーヤーのスイッチをオン |
| A TAPE | CD メモリーをオン – クローズアップ操作パネルの CD MEM ボタンに対応しています |
| 0 – 9 | 数字ボタンを使ってラジオプログラム番号、CD 番号、CD トラック番号を入力します |
| MENU | 押してタイマーのプログラミングを行います |
| ▲ | ラジオプログラムまたは CD のトラックを換えます。 |
| ▼ | RANDOM または REPEAT がディスプレイに表示されているとき ▲ を押して機能を稼働させ、機能が表示されているときに ▼ を押してスイッチをオフにします |
| ◀ ▶ | CD の検索 |
| ■ ■ | CD メモリーグループの選択 |
| GO | 再生を再開 – 設定の確定、その他。Beo4 のディスプレイに表示されたソースまたは機能を稼働させる |
| STOP | 再生を一時停止 |
| LIST | RANDOM、REPEAT など追加『ボタン』* を表示 |
| RANDOM | |
| REPEAT | |
| ∧ | 音量を調節、中央を押して消音、再度押してサウンドを復活 |
| ∨ | |
| • | BeoSound 3200 をスタンバイに切り替える |

* ご注意！ Beo4 に追加ボタンを表示するには、Beo4 の機能リストにそれらを追加しなければなりません：これらの機能を使用するために Beo4 に RANDOM および REPEAT を追加します。AUX ソケットに接続された他のソースのスイッチをオンにするには A.AUX を追加します。さらに詳しい情報は P40 の『Beo4 のカスタマイズ』をご覧ください。

ここではミュージックシステムのより複雑な操作法をご説明します。CDの異なる再生方法をご覧ください。CDメモリーへの音楽のコピーのしかた、CDメモリーグループ・CD・ラジオ局のネーミングのしかたについてご説明します。お好きな方法で音楽を管理し、指定通りに音楽を再生・停止します。さらに詳しくは、AVセットアップの様々な使い方についてお読みください。

お気に入りのトラックのみを再生、16

- CDの編集
- 一連のトラックを再生・削除

ランダムおよびリピート再生、17

- CDの異なる再生方法

CDのコピーおよび保存、18

- CD全体のコピーおよび保存
- お気に入りのトラックのみのコピーおよび保存

ネーミング、20

- ネーミング機能の使い方
- CD名のリストを見る

CDメモリー - コピー、移動、削除、22

- CDを他のグループへコピー
- CDを他のグループへ移動
- CDをグループ内の他の位置へ移動
- グループ内のCDまたはトラックを削除

設定した時間に再生開始、停止、24

- タイマーをセット
- タイマーの確認
- タイマーを削除

AVセットアップの使い方、26

- いずれかのシステムでオーディオまたはビデオを再生...
-

お気に入りの CD トラックのみを再生

再生時に CD 内のあるトラックを省きたい場合、CD を編集し、お気に入りのトラックのみを再生することができます。一旦 CD を編集し、お気に入りのトラックのみを選択すると、同じ CD の再生を行う度に選択されたトラックのみを再生します。但し、CD 全体を聴くことも可能です。編集した一連のトラックを削除すれば、毎回 CD 全体を再生します。選択されたトラックは番号の順に再生されます。

編集したい CD をセットし、編集を開始します。編集モードになると各トラックのイントロ部分が 15 秒間再生され、選択するトラックを決定するための時間を持つことができます。再生中のトラックを選択するかどうかの判断を行わないと、自動的に選択されます。

CD 内のすべてのトラックの選択判断を行う前に編集機能を終了すると、残りのトラックはすべて除外されたものとみなされます。

CD の編集

CD の再生中に押して、CD の編集を行います。
EDIT ?が表示されます

EDIT
EDIT ?

押して CD のスキャンを開始します。EDITING が現れ、ディスプレイ上段には SCAN が表示されます

GO
EDITING

押してトラック番号を選択するか、または...
押してトラック番号を除外します

▲
▼

最後のトラックの編集が終わると、EDIT OK ?が表示されます

EDIT OK ?

押して編集内容を保存します。
STORED が表示されます

GO
STORED

押して最後のトラックを編集する前に途中で編集を終了させることができます

GO

トラックの編集をし直す場合、まず CD ボタン、そして再度 EDIT ボタンを押し、編集を始めから行います。

一連のトラックの再生、削除

押して編集済みの一連のトラックを再生します。CD ED が表示されます

CD
CD ED

押して CD 全体を再生します

CD-ALL

一連のトラックを削除するには...
編集された CD の再生中に押して、一連のトラックを削除します。
EDIT ?が表示されます

EDIT
EDIT ?

押して一連のトラックを全て削除します。DELETED が表示されます

DELETE
DELETED

トラックの選択は、CD のランダムあるいはリピート再生機能とともに行うことができます。次ページをご覧ください。

ご注意！ CD メモリー内で編集された CD をコピーする場合、特別な指定を行わない限り、すべてのトラックがコピーされます。さらに詳しい情報は P18 の『CD のコピー、保存』をご覧ください。

ランダム再生機能では、セットされた CD あるいは選択された CD メモリーグループ内のすべてのトラックをランダムで再生します。リピート機能を使うとセットされた CD を最高 12 時間にわたり繰り返し再生します。これらの機能は併用することも別々に使用することも可能です。

CD の異なる再生方法

押してセットされた CD を再生するか、または...

CD

押して最後に聴いたグループの CD を再生します

CD MEM

押して他のグループを選択します



押してランダム機能を稼働させます

RANDOM

ON が現れ、ディスプレイ上段には RANDOM が表示されます

ON

CD をリピート再生するには...

押してセットされた CD を再生します

CD

押してリピート機能を稼働させます

REPEAT

ON が現れ、ディスプレイ上段には REPEAT が表示されます

ON

ランダム、あるいはリピート機能を停止させるには、再度対応するボタンを押します。


MOZART

ディスプレイ上段は、CD をランダムで、トラック番号 5 を再生中であることを示しています。ディスプレイ下段は、再生中の CD の名前が『モーツァルト』であることを示しています。


CD 2:15

ディスプレイ上段は、編集された CD をリピート再生中であることを示しています。ディスプレイ下段は、現在聴いているトラックの再生は 2 分 15 秒経過したことを示しています。

ご注意！ CD を再生中にランダム再生を中止すると、ランダム再生中に既に再生されたトラックであっても現在のトラック以降のトラックを順を追って再生します。

CD のコピーおよび保存

最も簡単な CD メモリーへのコピー方法は、CD 全体をコピーすることです。CD をセットし、コピーを開始します。コピーに要する時間は CD の長さによります。CD メモリーに保存された音楽の音質はオリジナルの CD の音質によります。CD をコピーしている最中にコピーしている音楽を聴くことも、消音することも、スタンバイモードにしておくこともできます。

コピー防止になっている CD でも、ミュージックシステムのメモリーにはコピーすることができます。但し、コピー防止になっている CD の場合、本当にその CD をコピーしたいのかどうか再度ご確認ください。

既に編集済みの CD（前頁を参照）でも、ALL を指定すれば全曲をコピーすることができます。CD を編集し、選択したトラックだけをコピーすることもできます。編集モードでは各トラックのイントロ部分が 15 秒間再生されます。それによりそのトラックを選択するかどうか判断する時間が得られます。CD 内のすべてのトラックを聴く前に編集機能を終了すると、残りのトラックはすべて除外されたものとみなされます。

CD をコピーしようとしたメモリーグループに空きがない場合、ディスプレイに FULL と表示されます。新たにコピーをする前に CD を 1 枚分削除しなければなりません。

CD 全体のコピーおよび保存

押してセットされた CD を再生します **CD**

押して CD のコピーを開始します **COPY**

ディスプレイにはすべてのトラックをコピーする旨が表示されます **ALL ?**

押して CD 全体をコピーします **GO**
COPY TO ?

グリーン、イエロー、レッド、ブルーのいずれかを押して CD を保存するグループを選択します

グループ内で保存できる最初の位置が表示されますが、好きな位置を選ぶこともできます **17 ?**

押して可能な位置を探るか、または... **▲**
▼

特定の位置番号を入力するか、または... **0-9**

押してコピーを開始します **GO**
COPYING

コピー防止になっている CD の場合、間もなくディスプレイにはその旨表示されます **CODED CD**

コード化された CD のコピーが終了すると、ディスプレイに CODED が表示されますので、本当にそのコピーを保存したいのかどうか必ずご確認ください * **CODED**
GO

... ⇒

CD のコピーと保存が終了すると、ディスプレイに COPY OK が表示されます **COPY OK**

コピーを停止するには...
押して停止します。既にコピーされた分は削除されます **CD MEM**
STOP

* コピー防止になっている CD のコピーを保存しない場合、STOP を押してコピーを削除します。

⇒ ...

ご注意！位置を特定しない場合、CD は選択されたグループ内で空いている最初の位置にコピーされます。

既に編集済みの CD (P16 を参照) でも、ALL を指定すれば全曲をコピーすることができます。CD を編集することで選択したトラックだけをコピーすることもできます。編集モードでは各トラックのイントロ部分が 15 秒間再生されます。それによりそのトラックを選択するかどうかを判断する時間が得られます。CD 内のすべてのトラックを聴く前に編集機能を終了すると、残りのトラックはすべて除外されたものとみなされます。

ミュージックシステムが *Option 0* (P31 を参照) にセットされ、コピー中に TV のスイッチをオンにした場合、コピーが完了するとミュージックシステムはスタンバイに切り替わります。そのためコピー防止の CD のコピーを保存できるよう、コピー中にミュージックシステムが稼働状態になっていることを必ずご確認ください。

お気に入りのトラックのみのコピーおよび保存

押してセットされた CD を再生します

CD

... ⇒

コード化された CD のコピーが終了すると、ディスプレイに CODED が表示されますので、本当にそのコピーを保存したいのかわかりやすくご確認ください *

CODED
GO

押して CD のコピーを開始します

COPY

ALL ?

押してトラックの選択を開始します

EDIT

EDIT ?

編集された CD のコピーと保存が終了すると、ディスプレイに COPY OK が表示されます

COPY OK

押して CD の編集を開始します

GO

EDITING

押してトラックを選択します

▲

押してトラックを除外します

▼

押して現在までに選択したトラックを保存します

GO

CD の編集が終わると、EDIT OK? がディスプレイに表示されます

EDIT OK?

押して CD を保存するグループを選択します

GO

COPY TO ?

押してグループを選択します



グループ内で保存できる最初の位置が表示されますが、お好きな位置を選ぶことも可能です

17 ?

特定の位置番号を入力します

0 - 9

押してコピーを開始します

GO

COPYING

コピー防止になっている CD の場合、間もなくディスプレイにはその旨表示されます

CODED CD

⇒ ...

* コピー防止になっている CD のコピーを保存しない場合、STOP を押してコピーを削除します。

ネーミング

CD そのものと CD メモリーに保存された CD を区別するために、CD に名前を付けることができます。また、ラジオ局や CD メモリーグループにも名前を付けることができます。

CD またはラジオ局に名前を付けるには、名前を付けるものが再生中になっていなければなりません。ミュージックシステムには合計 200 枚の CD を保存することができ、CD メモリー内に保存されたすべてに名前を付けることができます。名前には数字を含め 8 文字まで使用することができます。

ラジオ局に名前を付けない場合、局側から送信された名前がディスプレイに表示されます。

ミュージックシステムに保存された CD 名のリストを呼び出し (CD メモリー内の CD に割り当てられたものではない)、そこから名前を削除することができます。編集した CD の名前を削除すると、名前とともに編集された CD 自体も削除されます。

ネーミング機能の使い方

まず、名前を付けたいものを選択します...

名前を付けたいグループを選択、さらに/または...

押して CD メモリーをオンにします **CD MEM**

CD メモリー内の CD を選択するか、または...

押してラジオのスイッチをオンにします **RADIO**

ラジオ局を選択するか、または...

押してセットされた CD に名前を付けます **CD**

名前を付けようとしているものを聴きながら...

押してネーミングを開始します **NAME**
A _ _ _ _ _

押して文字を探します ▲ ▼

押して次の文字位置に移りますーこのようにして名前に使用する文字を入力していきます ▶▶ **D** _ _ _ _ _

押して名前を保存します。STORE ? が表示されます **GO**
STORE ?

再度押して名前を保存します *。STORED が表示され、名前が保存されたことを示します **GO**
STORED

*GO の代わりに DELETE を押すと、名前だけが削除され、その他すべての設定は残ります。

CD 名のリストを見る

CD の再生中に 2 度押して、CD の名前を見ます。

MEMORY が短時間表示され、それから現在聴いている CD 名が点滅します。名前が付けられていない場合、DISC 1 などディスクの番号が表示されます

押して名前を一つひとつ表示します ▲ ▼

CD の名前を削除するには...

該当する名前が表示されているときに押して、名前と一連のトラックを削除します。DELETE ? が表示されます

再度押して名前と一連のトラックを削除します。DELETED が表示され、名前と一連のトラックが削除されたことを示します **DELETE**
DELETED

CD を押して CD のネーミング機能を終了します **CD**

CD 名のリスト内に何も存在しない場合、ディスプレイに EMPTY と表示されます **EMPTY**

CD 名のリスト内に空きがない場合、ディスプレイに FULL と表示されます **FULL**

NAME
NAME
MEMORY
DISC 1

DELETE
DELETE ?

DELETE
DELETED

CD

EMPTY

FULL

CD メモリー - コピー、移動、削除


CD メモリー間で CD のコピーや移動、またグループ内で CD の位置を変更することができます。例えば、あるグループ内にパーティ用のリストを一時的に作成したり、他の誰かに割り当てたグループにコピーすることができます。一旦コピーが完了すると CD は両方のグループで聴くことができます。CD メモリー内で不要になった CD 全体またはトラックを削除することもできます。

CD をコピーあるいは移動すると、可能な最初の位置に保存されます。CD を既に確保された位置にコピーまたは移動したい場合、まずその位置に保存されている CD を移動または削除しなければなりません。

CD を他のグループへコピー

押して最後に聴いたグループの CD MEM
CD を再生します

押してコピー元のグループを選択
します




押してコピーしたい CD を選択し
ます - CD が再生されます

0 - 9

押して他のグループへのコピーを
行います

COPY
COPY TO ?

押してコピー先のグループを選択
します



15 ?

押して新しいグループ内での CD
の位置を選択します

0 - 9

押して CD を新しいグループにコ
ピーします。ディスプレイに
COPYING と表示されます

GO
COPYING


コピーを終了すると、COPY OK が
表示されます

COPY OK

CD を他のグループへ移動

押して最後に聴いたグループの CD MEM
CD を再生します

押して CD の移動元のグループを
選択します




押して移動したい CD を選択しま
す - CD が再生されます

0 - 9

押して他のグループへの移動を行
います

MOVE
MOVE TO ?

押して CD の移動先のグループを
選択します



15 ?

押して新しいグループ内での CD
の位置を選択します

0 - 9

押して CD を新しいグループに移動
します。ディスプレイに MOVING
と表示されます


GO
MOVING

移動を終了すると、MOVED が表
示されます

MOVED

CD のグループ内での移動


押して最後に聴いたグループの CD を再生します **CD MEM**

押して CD の移動元のグループを選択します 

押して移動したい CD を選択します — CD が再生されます **0 - 9**

押して CD の移動を行います **MOVE**

MOVE TO ?

押して再度同じグループを選択します 

15 ?

押して新しい位置を選択します **0 - 9**

押して CD を新しい位置に移動します。ディスプレイに MOVING と表示されます **GO**


MOVING

移動を終了すると、MOVED が表示されます **MOVED**

MOVED

グループ内の CD またはトラックを削除

押して最後に聴いたグループの CD を再生します **CD MEM**

押して CD またはトラックを削除するグループを選択します 

押して削除したい CD またはトラックの入っている CD を選択します — CD が再生されます **0 - 9**

押して CD またはトラックを削除します **DELETE**

15 ?

押して CD 全体を削除するか、または... **DELETE**

押して CD 内の特定のトラックのみを削除します **EDIT**

EDIT ?

押して削除したいトラックの選択を開始します **GO**

EDITING

押して現在聴いているトラックを残す対象として選択するか、または... ▲

押して現在聴いているトラックを削除する対象として除外します ▼

最後のトラックの編集が終わると、DELETE ?が表示されます **DELETE ?**

押して除外したトラックを削除します。DELETED が表示されます **DELETE**

DELETED

設定した時間に再生開始、停止

1 日または 1 週間単位で指定した時間に音楽の再生開始あるいは停止をすることができます。

ミュージックシステムに最高 15 種類のタイマーをセットすることができ、お気に入りの CD やラジオ番組で心地よく朝を迎えられるよう目覚ましタイマーとして使うこともできます。例えば、夕方のある時間に再生を停止したい場合、ソースとして STANDBY を選びタイマーとしてセットすることもできます。

またタイマーを月曜・火曜・木曜にセットすれば、毎週これらの曜日にだけタイマーが作動します。

お好みにより、タイマーはいつでも変更・取り消しをすることができます。ミュージックシステムがビデオシステムに接続されている場合、ビデオシステムのガイドに従ってタイマーをセットしてください。タイマー機能にアクセスすると、ディスプレイには USE TV と表示されます。ビデオシステムを経由してタイマーをセットする場合、A TAPE を選択するとソースとして CD メモリーが選ばれますが、特定の CD メモリーグループを選択することはできません。CD メモリーをソースとして選択する場合、タイマーが作動すると、最後に使用していたメモリーグループから再生が始まります。

タイマーをセット

ディスプレイに TIMER ? と表示されるまで繰り返し押します

押してタイマー機能を稼働させます。NEW ? が表示されます

押して新しいタイマーをセットします。RADIO ? が表示されます

押して使用可能なソースを切り換えます

押してディスプレイに表示されているソースを選択します。ラジオを選択するとプログラム番号が現れます

押してプログラム番号間を移動します

押してソースを確定します。開始時間が現れます

ご希望の開始時間を入力します

押して確定します。停止時間が現れます

ご希望の停止時間を入力します

STANDBY タイマーをセットする場合は、停止時間のみを保存します。

押して時間を確定します。MTWTFSS が表示されます。これらは M (月曜) から始まる週 7 日間を表します

SETUP
TIMER ?

GO
NEW ?

GO
RADIO ?

▲
▼

GO
P.NO 12 ?

▲
▼

GO
ON 20:00

0-9

GO
OFF 21:00

0-9

GO
MTWTFSS

... =>

押して曜日間を移動します

◀ ▶

押して曜日を含めます
押して曜日を除外します

▲
▼

選択された曜日が表示されます

MT T SS

押してディスプレイに表示された曜日を確定します。STORE ? が表示されます

GO
STORE ?

押してタイマーを保存します。STORED が表示され、タイマーが保存されたことを示します

GO
STORED

押してタイマーを稼働させ、BeoSound 3200 に接続されたスピーカーを稼働させます

TIMER

緑色のインジケータでタイマーが稼働状態にあることを示します

タイマーを保存したくない場合、STORE ? が表示されたところで ▲ を押すと、ディスプレイには EXIT ? が現れます。GO を押すとタイマーを保存せずにタイマー機能を終了します。

タイマーを保存する前に、例えばソースボタンなどを押してタイマー機能を終了すると、タイマーは自動的にキャンセルされます。

=> ...

ご注意！ディスプレイに表示されるソースリストには N.MUSIC (PC に保存された音楽トラック用) が含まれます。このソースはミュージックシステムが BeoLink PC 2 に接続されているときのみ有効です。

タイマーの確認

ディスプレイに **TIMER ?** と表示されるまで繰り返し押します

SETUP
TIMER ?

押してタイマー機能にアクセスします。NEW ?が表示されます

GO
NEW ?

押してディスプレイを **CHECK ?** に換えます

▲
CHECK ?

押してタイマーを見ます

GO

押してプログラムされたタイマー間を移動します

▲
▼

修正したい場合、修正するタイマーが表示されたときに **GO** を押します

RADIO 12
GO

ソースを変更したい場合、押して変更を行います

▲
▼

ソースを変更したら、押してソースを確定します

GO

修正内容を入力します

0 - 9

押して確定します。
OK ?が表示されます

GO
OK ?

押して保存します。STORED が表示され、修正されたタイマーが保存されたことを示します

GO
STORED

タイマーを削除

ディスプレイに **TIMER ?** と表示されるまで繰り返し押します

SETUP
TIMER ?

押してタイマー機能を稼働させます。NEW ?が表示されます

GO
NEW ?

押してディスプレイを **CHECK ?** に換えます

▲
CHECK ?

押してタイマーを見ます

GO

押してプログラムされたタイマー間を移動します

▲
▼

タイマーが表示されたとき

RADIO 12

DELETE を押して削除します。
DELETED が表示され、タイマーが削除されたことを示します

DELETE
DELETED

ご注意！ Beo4 を使ってタイマーをプログラムすることもできます。MENU ボタンを押してタイマー機能にアクセスし、これらのページで説明されている手順に従います。

AV システムの使い方

P31 の『AV セットアップ』で説明されているようにミュージックシステムが Master Link 経由でビデオシステムに接続されている場合、ミュージックシステムに接続されているスピーカーかビデオシステムに接続されているスピーカーのいずれを使うか、選択することができます。

ミュージックシステムがビデオシステムに接続され、スピーカーがビデオシステムに接続されている場合、ビデオシステムは当ガイドで説明されている機能の一部を受け継ぎます（例えば、P24 の『設定した時間に再生開始、停止』で説明されているようなタイマーのプログラミングなど）。またすべてのリモコン操作（オーディオおよびビデオ用）はビデオシステム経由で行われなければなりません。

スピーカーがミュージックシステムに接続されている場合、AV システムが同じ部屋に設置されている必要はなく、いずれかのシステムのいずれかのスピーカーから音を聴くことができます。

いずれかのシステムでオーディオまたはビデオを再生...

TV 画面のスイッチをオンにせずにビデオシステムの音をミュージックシステムのスピーカーから聴くには...

Beo4 ディスプレーに AV* が表示されるまで繰り返し押し...

LIST

AV

TV などのビデオソースのボタンを TV 押します

AV が Beo4 のディスプレイに表示される前後にソースボタンを押すと、TV 画面のスイッチがオンになります。

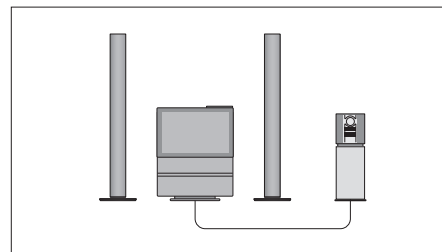
ミュージックシステムからの音を TV のスピーカーから聴くには...

Beo4 ディスプレーに AV が表示されるまで繰り返し押し...

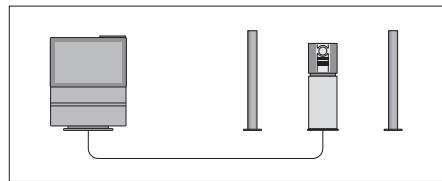
LIST

AV

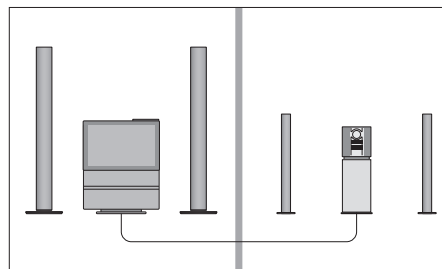
RADIO などのオーディオソースの RADIO ボタンを押します



AV システム。スピーカーがビデオシステムに接続されています。



AV システムが一部屋に設定されている例。スピーカーがオーディオシステムに接続されています。



AV システムが二部屋に設定されている例。スピーカーがオーディオシステムまたは両方のシステムに接続されています。

* ご注意！ Beo4 のディスプレイ上に AV が現れない場合、Beo4 の機能リストに追加しなければなりません。詳細は P40 の『Beo4 のカスタマイズ』をご覧ください。

この章ではミュージックシステムの設置、接続、お手入れのしかたを説明します。

ミュージックシステムを設定する際には、この手順に従って行うことをお勧めします。

- 1 ミュージックシステムを使用したい場所に設置します。
- 2 スピーカーおよび他の補助装置を設定します。
- 3 ケーブルをケーブルカバーの溝に納め、カバーをミュージックシステムの背後に取り付けます。
- 4 全てのケーブルをミュージックシステムの背面パネルにあるソケットに接続します—但し、電源にはまだ接続しないでください。
- 5 ガラスの扉を取り付けます。
- 6 製品を電源に接続します。

ミュージックシステムの設定のしかた、28

- ミュージックシステムを設置...

ケーブルの接続、29

- アンテナ
- スピーカー
- 補助装置
- BeoLink の接続
- 電源

ミュージックシステムの組立てかた、30

- ケーブルの配線
- ケーブルカバーの取り付け
- ガラス扉の取り付け

AV セットアップ、31

ミュージックシステムのお手入れのしかた、32

- BeoSound のクリーニング
 - CD のクリーニング
 - CD メモリーハードディスク
 - Beo4 の電池交換
-

ミュージックシステムを設置

ミュージックシステムを設置...

ミュージックシステムが当ガイドに従って設定、設置、接続されていることをご確認ください。

ミュージックシステムを、テーブル、サイドボード、あるいは最終的な設置場所となる場所など、硬い物の上に設置します。

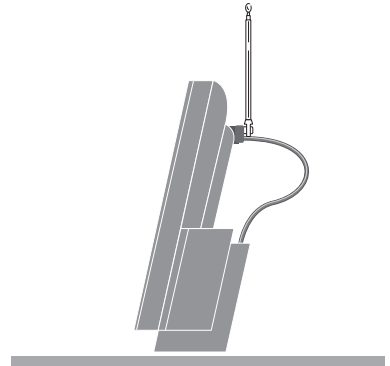
ミュージックシステムは温度 10–40° C の家庭環境の乾燥した室内で使用するようデザインされています。

直射日光の当たるところ、ヒーターの近く、その他の熱源に近いところに設置しないでください。

十分な換気が行えるよう、ミュージックシステムの上部および側面には 5cm 以上の空間を取ってください。両脇には必ずガラスの扉が開くために十分な空間を取ってください。

ミュージックシステムを壁に掛ける場合、壁掛けブラケット（オプション）とミュージックシステムを取り付けるための正しいサイズおよびタイプのネジと壁用プラグをお使いください。ネジと壁用プラグのタイプは、壁に使われている材質や構造によって異なります。

すべてのケーブルの接続が終了するまで（次のページを参照）、決してシステム内の製品を電源に接続しないでください。

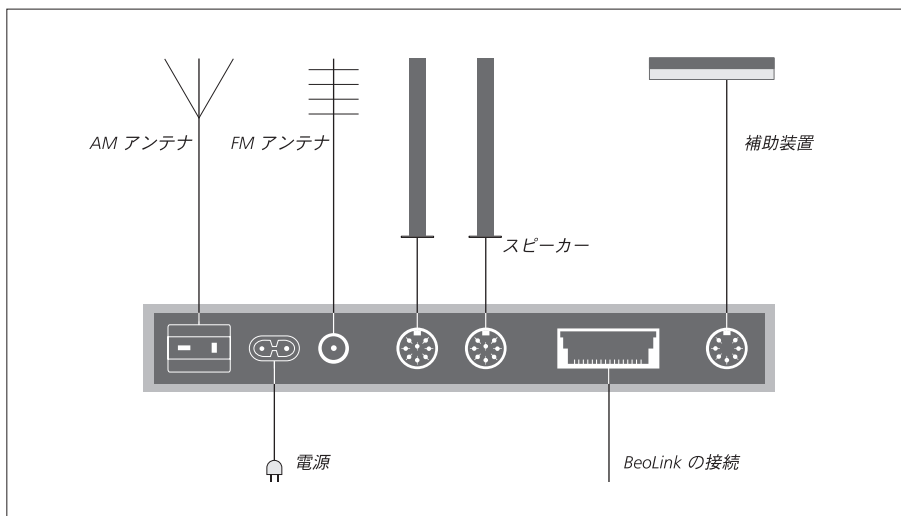


FM 用固定型アンテナを接続できない場合、室内アンテナを BeoSound 3200 の背面のクランプに掛けてください。

正しいソケットを探すには、ソケットパネルに示された図を参考にしてください。

設定の手順が済むまで、決してミュージックシステムを電源に接続しないでください。

ミュージックシステムは個別にも、Master Link ケーブルを使用してBang & Olufsen のビデオシステムに接続してもお使いいただけます。ミュージックシステムの背面にある Master Link ソケットは、BeoLink® の配信用にも使うことができます。BeoLink システムでは、スピーカーを追加すればミュージックシステムを家中のお好きな場所で楽しむことができます*。



アンテナ

FM アンテナを FM と書かれているソケット、AM アンテナ（あれば）を AM と書かれているソケットに接続します。

AM のループアンテナをお使いの場合、まず好きなラジオ局に合わせて、それから最高の受信が得られるようアンテナを水平方向に調整してください。

スピーカー

スピーカーを POWER LINK と書かれたソケットに接続します。

この場合、スピーカーからスピーカーへ接続するループ型、あるいは1つのスピーカーを2つのソケット両方に接続する方法があります。BeoLab スピーカーの『ユーザーガイド』をご参照ください。

必ず、BeoLab スピーカーの L・R・LINE スイッチを、それぞれ L（左）と R（右）に設定してください。

BeoLab 2500 スピーカーを接続する場合は、スピーカーに添付された『ガイド』をご参照ください。

補助装置

補助装置を AUX と書かれたソケットに接続します。このソケットを使用すると、オーディオテープやレコードプレーヤーなど互換性のあるBang & Olufsen の装置を使用することが可能となります。但し、このソケットに接続された装置はリモコンで操作することができません。また、このソケットには他社の装置を接続することも可能です。

BeoLink の接続

MASTER LINK と書かれたソケットは、ミュージックシステムや互換性のあるBang & Olufsen のビデオシステムを接続した場合に使用します。

電源

電源プラグをミュージックシステムの ~ と書かれたソケットに差し込みます。但し、まだ電源には接続しないでください。

* ご注意！ BeoLink システムや補助装置に関する詳細は、Bang & Olufsen 販売店にお問い合わせください。

BeoSound 3200 の組立て方

前ページに記載されている設定の手順が終了したら、ガラスの扉とケーブルカバーを取り付けなければなりません。

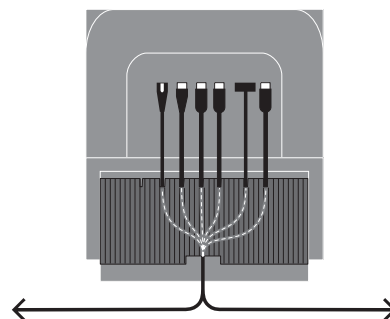
ケーブルの配線

右の図に従って連結ケーブルをケーブルカバーに納めます。ケーブルカバーをミュージックシステムの背面に取り付ける前に、ケーブルがずれないようにテープでまとめても構いません。

ケーブルカバーの取り付け

ケーブルの納められたカバーを BeoSound の背面パネルにあるグリルに取り付けます。

- a 下段のペグをグリルに差し込みます。
- b 上段のペグをグリルに押し込みます。
- c ペグが完全にグリルに納まるまでケーブルカバーを上を引きます。

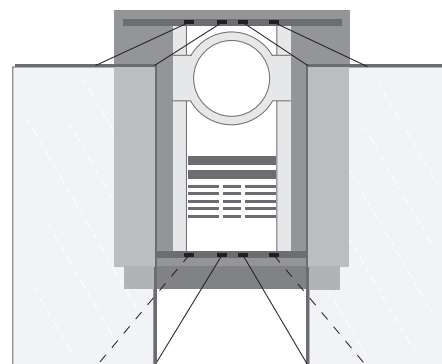
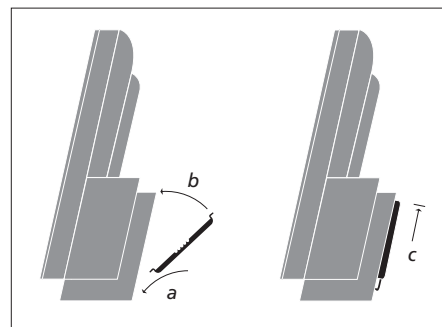


ケーブルカバーが取り付けられるまでケーブルを差し込まないでください。

ガラス扉の取り付け

ガラスの扉の裏側についたラベルに、BeoSound の上側になるべき端と中央になるべき端が示されています。

- > 2つの扉を片方ずつ、BeoSound の前面に向かって留め具がソケットに合うように閉じます。
- > カチッという音がするまでそれぞれの留め具を静かに押します。カチッという音が聞こえたらガラスの扉がきちんと取り付けられたことを意味します。



ガラスの扉は細心の注意を以てお取り扱いください。万が一、ひびや破損が確認された場合は、危険ですので早急にお取り替えてください。Bang & Olufsenの販売店を通して取り替えの扉をお求めいただけます。

ミュージックシステムは個別のシステムとしても、また Master Link ケーブルでシステムに接続した場合には AV システムとしてもお使いいただけます。ミュージックシステムとビデオシステムを接続した場合、必ず一緒に機能するようにセットアップされていることをご確認ください。そのためには、このページで説明されているように『オプション・プログラミング』を行わなければなりません。また、スピーカーをミュージックシステムに接続するか、ビデオシステムに接続するかを選択することもできます。

ミュージックシステムには、工場から出荷された時点でオプション1が設定されていますが、ミュージックシステムを単独で使用する場合はオプション・プログラミングを行う必要はありません。

AV システムの操作に関する情報は P26 の『AV システムの使い方』をご参照ください。

オプション・プログラミング

オプション・プログラミングはシステム全体がスタンバイに切り換えられた後、Beo4 リモコンで行うことができます。

オーディオシステムのための『オプション』をプログラム...

- > ● ボタンを押しながら、LIST を押します。
- > 両方のボタンを放します。
- > Beo4 ディスプレーに OPTION?が表示されるまで LIST を繰り返し押し、それから GO を押します。
- > Beo4 ディスプレーに A.OPT が表示されるまで LIST を繰り返し押し、それから該当する番号 (0、1、2、5 あるいは 6)

V.OPT を選択してビデオシステムのための『オプション』をプログラムします。

ミュージックシステムには 5 つの異なるオプション設定があります：

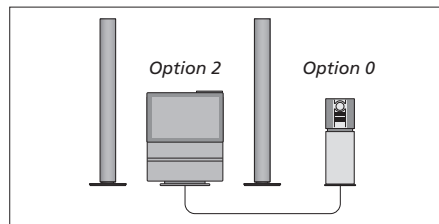
オプション0。ミュージックシステムがビデオシステムに接続され、スピーカーが直接ミュージックシステムに接続されていない場合に使用します。

オプション1。ミュージックシステムが単独でセットアップされているか、ミュージックシステムがビデオシステムに接続され、スピーカーがミュージックシステムに接続されている場合に使用します。

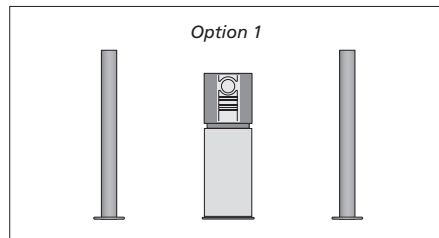
オプション2。ミュージックシステムが1つの部屋にセットアップされ、他の部屋にあるビデオシステムに接続されている場合に使用します。

オプション5。ミュージックシステムを Bang & Olufsen の TV と一緒にリンクルームに設置する場合に使用します。

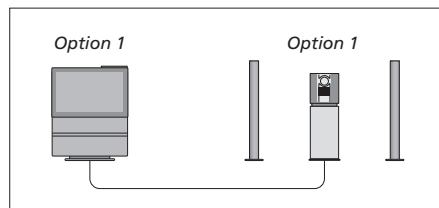
オプション6。Bang & Olufsen の TV は設置せずに、ミュージックシステムのみをリンクルームに設置する場合に使用します。



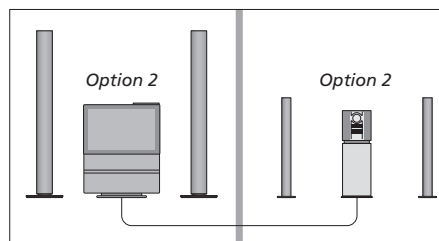
AV システム。



独立型のセットアップ。



AV システムが一部屋に設定されている例。



AV システムが二部屋に設定されている例。

ミュージックシステムのお手入れのしかた

ミュージックシステムのクリーニングなど、日常のメンテナンスはユーザの責任で行ってください。最高の結果を得られるよう、これらの説明に従ってください。

ガラスの扉が開閉するのを防ぐため、ミュージックシステムのクリーニングを始める前にシステムを電源から外してください。ミュージックシステムが電源から外れていると、ガラスの扉は手で開閉することができます。そっと力を入れて行ってください。

CD は細心の注意を払ってお取り扱いください。CD は必ず縁を持ち、CD プレーヤーから取り出したときにはオリジナルのケースに入れます。クリーニングを行う必要はありません。

ハードディスクが破損した場合、CD メモリーに録音された音楽はすべて失われますので、再度録音し直さなければなりません。

Beo4 ディスプレーに『BATTERY』と表示された場合、リモコンの電池交換が必要です。

ミュージックシステムのクリーニング

乾いた柔らかい布を使ってミュージックシステムの埃を取り除きます。

必要に応じてガラスの扉を取り外し内側のお掃除をすることもできます。ガラスの扉を取り外すには、扉を開け、1枚の扉をしっかりと押さえ、ゆっくりと力強く4箇所フックから外し、外側に向けて引きまします。ガラスの扉をきれいにするには、マイルドな窓用クリーナーをお使いください。

当ガイドで説明されているように扉を閉めます。システムを電源に接続する前に、扉を半開にしてください。

CD メモリーハードディスク

CD メモリーから音楽を再生中に音が消えたり雑音が入るような場合は、資格のある専門家にミュージックシステムの検査を依頼されることをお勧めいたします。万が一、ハードディスクの交換が必要になった場合、CD メモリーに保存された音楽は可能な限り新しいハードディスクに移管されます。

電池交換...

Beo4 には電池が3個必要です。1.5v のアルカリ電池以外は使用しないでください。電池を交換する際は、このページに示されているように蓋を開けるまで電池の上に指を添えて行ってください。

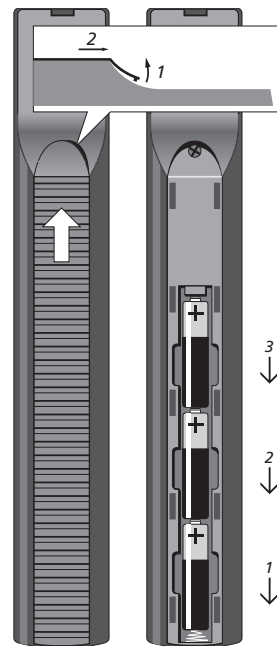
電池交換後、ディスプレイに『TV』と表示されるまで約10秒間お待ちください。これでBeo4 リモコンは操作ができる状態になりました。



BeoSound のお手入れには決してアルコールまたはその他の溶剤を使用しないでください。CD プレーヤーには特殊なクリーニング用 CD を用いないでください。



CD のクリーニング CD に汚れや指紋、埃などが付着した場合は、リントフリーの柔らかい乾いた布で拭き取ってください。高温多湿を避けて、決して CD に書き込んだりしないでください。CD には決して溶剤や研磨剤を用いず、CD を拭く際は中央から外側に向けて直線を描いてください。



ラジオの調整のしかた、各個人にあったサウンドのプリファレンス設定のしかたをご説明します。時計のセットのしかた、PIN コードシステムの使い方をご覧ください。ミュージックシステムに Beo4 リモコンをお使いになりたい場合、この章では Beo4 のカスタマイズのしかたをご覧ください。Beo4 の使い方に関しては、P9 の『日常の使用』をご覧ください。

ラジオ局の調整、編集、34

- ラジオ局を合わせる
- 保存したラジオ局を移動する
- ラジオ局を削除する

サウンドの調節と保存、36

- サウンドの調節

内蔵された時計をセット、37

- 時計をセット

PIN コードのセットと入力のしかた、38

- PIN コードを入力
- PIN コードシステムを稼働
- PIN コードを変更
- PIN コードシステムを非稼働
- PIN コードを忘れてしまったら

Beo4 のカスタマイズ、40

- Beo4 を構成
 - 追加『ボタン』を加える
 - 追加『ボタン』を移動
 - 追加『ボタン』を削除
-

ラジオ局の調整、編集

ミュージックシステムにラジオ局を選ばせ、お好きなプログラム番号に保存します。ラジオ局は 60 局まで保存することができ、P20 で説明されているように名前を付けることができます。一旦ラジオ局を保存すると、プログラム番号を入力するか、保存されたすべてのラジオ局を次々と切り換えて直接アクセスすることができます。

一旦ラジオ局を見つけたら、受信状態が悪い場合には微調整することが可能です。またラジオ局の周波数を入力し、選んだプログラム番号に保存することもできます。

調整済みのラジオ局を移動または削除することもできます。

別のプログラム番号に移動させたラジオ局は、移動後も前のプログラム番号で検索することができます。新たなプログラム番号がメモリー保存されると、ラジオ局に付けていた前の名前は消去されます。

ラジオ局を移動させる先のプログラム番号が既に使用されている場合、そのラジオ局は削除されてしまいますので、別のプログラム番号でメモリー保存してください。

ご注意！ステレオのシグナルが弱くある程度の音質を得られない場合、ミュージックシステムは自動的にモノに切り換えます。必要に応じ、調整を行うときにモノを選択することも可能です。

ラジオ局を合わせる

押してラジオのスイッチをオンにします **RADIO**

ディスプレイに TUNE ? と表示されるまで繰り返し押します **SETUP**
TUNE ?

押して調整機能にアクセスします。FM ? が表示されます **GO**
FM ?

押して FM から AM へ、または AM から FM へ切り換えます ▲▼

押して AM または FM を選択します。FM あるいは AM、さらに現在の周波数が表示されます **GO**
FM 88.9

押してラジオ局を検索します一周波数帯を上下するか、または... ▲▼

周波数を入力します **0-9**

押して確定します。FINE 0 が表示されます **GO**
FINE 0

必要なら、押して微調整を行います ▲▼

押して確定します。STEREO ? が表示されます **GO**
STEREO ?

押して STEREO から MONO に切り換えます ▲▼

押して確定します一使用可能な最初のプログラム番号が現れます **GO**
P 15 ?

押して異なるプログラム場号に切り換えるか、または... ▲▼

ご希望のプログラム番号を入力します **0-9**

押して表示されているプログラム番号の局を保存します。STORED が表示され、ラジオ局が保存されたことを示します **GO**
STORED

保存したラジオ局を移動する

押してラジオのスイッチをオンにします **RADIO**

ディスプレイに TUNE ? と表示されるまで繰り返し押します **SETUP**
TUNE ?

押してラジオ局を調整します。FM ? (または AM ?) が表示されます **GO**
FM ?

押して確定します **GO**

繰り返し押し、プログラム番号を表示します **GO**
P 15 ?

保存したいラジオ局を番号で入力します **0-9**

もう一度押すと、そのラジオ局が保存されます。STORED という文字が表示されて、選んだ番号でラジオ局が保存されたことが確認されます **GO**
STORED

ラジオ局を削除する

押してラジオのスイッチをオンに
します **RADIO**

番号ボタンを 1 つ押してラジオ局
を選択します **0 - 9**
RADIO 7

押して現在聴いているラジオ局を削
除します **DELETE ?**が表示されます **DELETE**
DELETE ?

再度押してラジオ局を削除します。
DELETED が表示され、ラジオ局が
削除されたことを示します **DELETE**
DELETED

サウンドの調節と保存

すべてのサウンドレベルは、工場から出荷される時点で中間に設定されていますが、お好みによりサウンドを調節し、保存することができます。

音量と低音・高音レベルの調節、また左右のスピーカーのバランスを変えることができます。

音量のレベルを保存すると、ミュージックシステムは毎回スイッチがオンになる度にそのレベルで再生を開始します。保存できる最高レベルは 60 です。

またミュージックシステムにはラウドネス機能を持ち、いつでも稼働または非稼働にできます。ラウドネス機能を使うことによって音楽がさらにダイナミックになります。これは低音量で聴いているとき、高・低周波数の音をよく聴きわけられない人間の耳を補うものです。

サウンド調節を保存しない場合、一旦スイッチをオフにすると、ミュージックシステムのサウンドレベルはプリセットのレベルに戻ります。

サウンドの調節

ディスプレイに SOUND ? と表示されるまで繰り返し押します

SETUP
SOUND ?

押してサウンド調節機能にアクセスします。VOL および現在の音量レベルが現れます

GO
VOL 28

押してサウンドレベルを上下させます

▲
▼

例えば BAL > < のように異なるサウンドが表示されるまで繰り返し押します

GO
BAL ><

押してバランスを調節します

◀ ▶

STORE ? が表示されるまで繰り返し押します

GO
STORE ?

押して現在のサウンドレベルを保存します。STORED が表示されます

GO
STORED

音量調節...

押して音量を上下に調節します

∧
∨

押すと完全に消音し、再度押すとサウンドを復活させます

MUTE

サウンド調節中に表示されるディスプレイ...

VOL 32

音量レベル 音量は 2 つのステップで 00 から 72 まで調節することができます。

BAL ><

バランスの設定 バランスは両サイドに 7 段階で調節することができます。

BASS 0

低音レベル 低音は -5 から +5 まで調節することができます。

TREB 0

高音レベル 高音は -5 から +5 まで調節することができます。

LOUD ON

ラウドネス設定 ラウドネスがオンになっているかオフになっているかを示します。

ご注意！ BeoSound をバング & オルフセンの AV システム内で使用されている場合、サウンドはビデオシステムのガイドに従って調節しなければなりません。SOUND ボタンを押すと、ディスプレイには『USE TV』と表示されます。

ミュージックシステムには年・月日・時間の表示できる時計が内蔵されています。SETUP ボタンまたは Beo4 リモコンを使って時間を呼び出すことができます。時計は自動的にセットされるものではありませんので、各自セットする必要があります。

P24 で説明されているタイマー機能をご利用になる場合、ミュージックシステムに内蔵された時計が正しくセットされていないかもしれません。

時計をセット

ディスプレイに CLOCK ? と表示されるまで繰り返し押します

SETUP
CLOCK ?

押して時計機能にアクセスします。時間が現れます

GO
14 : 45

必要に応じ、押して正しい時間に変えます

▲
▼

あるいは時間を入力します

0 - 9

押して確定します。日付が現れます

GO
23 AUG

必要に応じ、押して正しい日付に変えます

▲
▼

押して確定します。年が現れます

GO
2002

必要に応じ、押して正しい年に変えます

▲
▼

押して確定します。STORE ? が表示されます

GO
STORE ?

押して新しい設定内容を保存します。STORED が表示されます

GO
STORED

Beo4 を使って時計を呼び出すには...
Beo4 のディスプレイに CLOCK と表示されるまで繰り返し押します

LIST
CLOCK

押して時計を呼び出します。ミュージックシステムのディスプレイに時間が現れます

GO
14 : 45

ご注意！ミュージックシステムが Master Link ケーブルでビデオシステムに接続されている場合、ビデオシステムの時計がセットされていないかもしれません。

PIN コードのセットと入力

PIN コードシステムを稼働させるかどうかを決めます。PIN コードを使用すると、ミュージックシステムが約 30 分以上電源から外されていた場合、再度スイッチを入れたときにクローズアップの操作パネルから PIN コードを入力しない限り、システムを稼働させることができません。

3 分間 PIN コードの入力がないと、ミュージックシステムは自動的にスタンバイモードに変わります。

不正な PIN コードが 5 回続けて入力されると、システムのスイッチはオフになり、その後 3 時間スイッチをオンにすることができません。

PIN コードを変更することは可能ですが、安全対策上、3 時間以内で 5 回までに制限されています。

PIN コードを忘れてしまった場合、バング & オルフセンの販売店へご連絡いただくと、バング & オルフセンからマスターコードをお取り寄せいたします。ミュージックシステムを再度稼働させるにはマスターコードが必要です。

PIN コードを入力

入力を促す PIN _ _ _ _ が現れます

PIN _ _ _ _

PIN コードを入力してください。

0 - 9

入力された PIN コードは表示されません

PIN * _ _ _

PIN * * * *

4 桁の入力が済むと、ディスプレイには RADIO 1 などのソース名が表示されます

RADIO 1

PIN コードを稼働させ、ミュージックシステムが約 30 分以上電源から外されると、システムのスイッチをオンにし PIN コードをクローズアップの操作パネルから入力しなければならないことを示すランプが点滅します。

PIN コードシステムを稼働

システムがスタンバイのときに 2 度押します

◀

押して 4 桁の PIN コードを入力します。NEW PIN が短時間表示され、それから PIN _ _ _ _ が現れます

STOP

NEW PIN

PIN _ _ _ _

4 桁の PIN コードを入力します。入力された PIN コードは表示されません

0 - 9

PIN * _ _ _

PIN * * * *

押して PIN コードを保存します。CONFIRM が短時間表示され、それから、PIN _ _ _ _ が現れます

GO

CONFIRM

PIN _ _ _ _

コードを再度入力します。入力された PIN コードは表示されません

0 - 9

PIN * * * *

押して保存します。STORED が表示され、PIN コードが保存されたことを示します

GO

STORED

ご注意！再度不正なコードが入力されると、ディスプレイに ERROR が現れ、コードを再度入力しなければなりません。

PIN コードを変更

セットがスタンバイのときに2度
押します



押して4桁のPINコードを入力し
ます。PIN _ _ _ _ が現れます

STOP

PIN _ _ _ _

PINコードを入力してください。
入力されたPINコードは表示され
ません。NEW PIN ?が表示されます

0-9

PIN ****

NEW PIN ?

押して新しいPINコードを入力し
ます。PIN _ _ _ _ が現れます

GO

PIN _ _ _ _

新しいPINコードを入力してくだ
さい。入力されたPINコードは表
示されません

0-9

PIN ****

押して保存します。CONFIRM が短時
間表示され、それから、PIN _ _ _ _
が現れます

GO

CONFIRM

PIN _ _ _ _

コードを再度入力します。
入力されたPINコードは表示され
ません

0-9

PIN ****

押して保存します。STORED が表
示され、新しいPINコードが保存
されたことを示します

GO

STORED

PIN コードシステムを非稼働

セットがスタンバイのときに2度
押します



押して4桁のPINコードを入力し
ます。PIN _ _ _ _ が現れます

STOP

PIN _ _ _ _

PINコードを入力してください。
入力されたPINコードは表示され
ません。NEW PIN ?が表示されます

0-9

PIN ****

NEW PIN ?

押してディスプレイをPIN OFF に
換えます



PIN OFF

押してPINコードを非稼働にしま
す。DELETED が表示され、PIN コ
ードが非稼働にされたことを示し
ます

GO

DELETED

PIN コードを忘れてしまったら

入力を促す PIN _ _ _ _ が現れます

PIN _ _ _ _

3秒間押し続け、マスターコード
の入力を行います



5桁のマスターコードを入力して
ください。DELETED が表示され、
PINコードが非稼働になり、セッ
トが使用できる状態であることを
示します

0-9

DELETED

Beo4 のカスタマイズ

既に Beo4 リモコンをお持ちの場合、ミュージックシステムとともに使用できるように再構成することが可能です。

さらに、LIST ボタンを押して呼び出すことができる追加『ボタン』を加えることができます。LIST を押したときに現れる追加『ボタン』の順序（既存のボタンと追加したボタン）を変えることができます。

『ボタン』を追加した場合、Beo4 の追加『ボタン』のリストのどこに収めるかを選ぶことができます。追加『ボタン』を削除することもできます。

Beo4 を構成

スタンバイボタンを押し続けます •

押して Beo4 のセットアップ機能へアクセスします **LIST**

両方のボタンを放します。
ディスプレイに ADD? と表示されます

ADD?

ディスプレイに CONFIG? と表示されるまで繰り返し押します

LIST

CONFIG?

押して構成のタイプを選びます **GO**

ディスプレイに AUDIO? と表示されるまで繰り返し押します

LIST

AUDIO?

押してオーディオの構成にアクセスします **GO**

ディスプレイに AUDIO1 と表示されるまで繰り返し押します *

LIST

AUDIO1

押して構成内容を保存します **GO**

STORED が表示され、構成が保存されたことを示します。Beo4 セットアップ機能は自動的に終了します

STORED

* オーディオの構成に AUDIO1 が含まれていない場合、代わりに BASIC を選びます。

追加『ボタン』を加える

スタンバイボタンを押し続けます •

押して Beo4 のセットアップ機能へアクセスします **LIST**

両方のボタンを放します。
ディスプレイに ADD? と表示されます

ADD?

押して追加可能な『ボタン』のリストを呼び出します。
最初の『ボタン』がディスプレイに現れ、点滅します **GO**

追加可能な『ボタン』のリスト内で押し、前後に移動させます ▲ ▼

押して『ボタン』をプリセットに入れるか、リスト内の最初の『ボタン』として追加するか、または... **GO**

押して『ボタン』をリスト内の特定の場所に挿入します **1-9**

ADDED が現れて『ボタン』が追加されたことを示し、Beo4 セットアップ機能は自動的に終了します

ADDED

追加『ボタン』を移動

スタンバイボタンを押し続けます •

押して Beo4 のセットアップ機能
へアクセスします **LIST**

両方のボタンを放します。
ディスプレイに ADD? と表示され
ます **ADD?**

ディスプレイに MOVE? と表示さ
れるまで繰り返し押します **LIST**
MOVE?

押して追加『ボタン』のリストを
呼び出します。最初の『ボタン』
がディスプレイに表示されます **GO**

追加『ボタン』のリスト内で押し、
前後に移動させます **▲**
▼

押してリスト内の最初の『ボタン』
として移動させるか、または... **GO**

押して『ボタン』をリスト内の特
定の場所に移動します。後続の
『ボタン』は 1 つずつ後ろへ移動
します **1-9**

MOVED が現れて『ボタン』が移
動したことを示し、Beo4 セッ
トアップ機能は自動的に終了しま
す **MOVED**

追加『ボタン』を削除

スタンバイボタンを押し続けます •

押して Beo4 のセットアップ機能
へアクセスします **LIST**

両方のボタンを放します。
ディスプレイに ADD? と表示され
ます **ADD?**

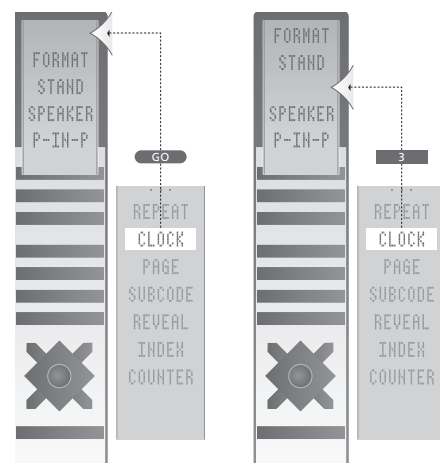
ディスプレイに REMOVE? と表示
されるまで繰り返し押します **LIST**
REMOVE?

押して追加『ボタン』のリストを
呼び出します。最初の『ボタン』
がディスプレイに表示されます **GO**

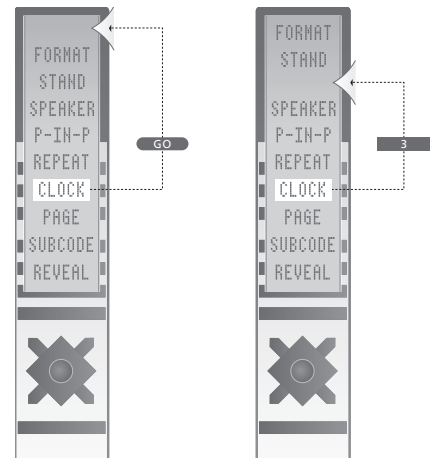
追加『ボタン』のリスト内で押し
て、前後に移動させます **▲**
▼

押して表示された『ボタン』を削
除します **GO**

REMOVED が現れて『ボタン』が
削除されたことを示し、Beo4 セ
ットアップ機能は自動的に終了し
ます **REMOVED**



Beo4 に追加『ボタン』を加える。



追加『ボタン』を移動。

索引

組み立て方

BeoSound 3200 の組み立て方、30
ガラス扉の取り付け、30
ケーブルカバーの取り付け、30

AV システム

ミュージックシステムをビデオシステムに接続、29
オプション・プログラミング、31
AV システムの使い方、26

Beo4 リモコン

Beo4 に追加『ボタン』を加える、40
Beo4 の電池交換、32
Beo4 の構成、40
追加『ボタン』を移動、41
追加『ボタン』を削除、41
Beo4 リモコンの使い方、13

ケーブル

ケーブルの接続、29
ケーブルカバーの取り付け、30

CD プレーヤー

CD の名前を削除、20
CD のセット、4
CD のネーミング、20
CD の再生、11
お気に入りのトラックのみを再生、16
CD を最高 12 時間リピート再生、17
CD 名のリストを見る、20

CD メモリー

CD メモリーグループ、5
CD を CD メモリーへコピー、18
CD メモリー内で CD をコピー、22
特定のトラックのみを CD メモリーグループへコピー、19
CD メモリー内の CD を削除、23
CD メモリー内のトラックを削除、23
CD メモリー内で CD を移動、22-24
CD メモリーグループのネーミング、20
CD メモリー内の CD に名前を付ける、20
CD メモリーからの再生のしかた、10

クリーニング

ミュージックシステムのお手入れのしかた、32
CD の取り扱い、32

時計

内蔵された時計をセット、37

接続

アンテナ用ソケット、29
ソケットパネル、29
ミュージックシステムをビデオシステムに接続、29
スピーカーの接続、29
ヘッドフォンの接続、4

連絡先

バング & オルフセンの連絡先、44

コピー

CD から CD メモリーへコピー、18
CD を他のグループへコピー、22

削除

CD の名前を削除、20
CD メモリー内の CD またはトラックを削除、23
ラジオ局を削除、35
一連のトラックを削除、16

ディスプレイ

表示される情報の理解と変更方法、7

ガラスの扉

ガラス扉の取り付け、30

グループ

CD メモリーグループ、5
CD メモリーグループのネーミング、20

ハードディスク

CD メモリーハードディスク、32

ヘッドフォン

ヘッドフォンの接続、4

スピーカー

スピーカーの接続、29

メンテナンス

ミュージックシステムのお手入れのしかた、32

Master Link

AV セットアップ、31

オプション・プログラミング、31

AV システムの使い方、26

ネーミング

CD の名前を削除、20

CD に名前を付ける、20

ラジオ局に名前を付ける、20

CD メモリーグループに名前を付ける、20

CD 名のリストを見る、20

オプション

ミュージックシステムに正しいオプションをプログラム、31

PIN コード

PIN コードシステムを稼働、38

PIN コードを変更または削除、39

DiPIN コードを忘れてしまったら、39

PIN コードの使い方、38

設置

ミュージックシステムを設置、28

設定

Beo4 のカスタマイズ、40

時計をセット、37

サウンドの調節、36

ラジオ

ラジオ局を削除、35

ラジオ局を移動、34

ラジオ局に名前を付ける、20

ラジオのスイッチをオン、12

ラジオ局を合わせる、34

ランダム再生

トラックのランダム再生、17

リピート再生

CD のリピート再生、17

ソケット

ソケットの外観、29

サウンド

音量調整、消音、36

ステレオからモノヘサウンドを変更、34

音量、低音、高音の調節、36

タイマー

内蔵された時計をセット、37

ミュージックシステムを自動的に開始・停止、24

Beo4 を使ったタイマーのプログラミング、25

タイマー再生機能のスイッチをオン、24

タイマーの編集、削除、確認、25

トラック

お気に入りのトラックのみをコピー、19

お気に入りのトラックのみを再生、16

トラックのランダム再生、17

調整

受信可能なラジオ局を検索、34

ラジオ局を合わせる、34

ラジオ局に名前を付ける、20

ラジオ局を移動、34

ラジオ局を削除、35

お客様情報...

ユーザーとしてのお客様のニーズを満たすため、Bang & Olufsenではデザインおよび開発段階で慎重に検討し、簡単な操作と使い易さを実現できるよう、常に最善の努力をいたしております。

ですから、Bang & Olufsen製品に関するお客様の貴重なご意見をお寄せいただけますようお願い申し上げます。今後私どもの製品をさらに改善させてゆくために、肯定的・否定的なご意見に関わらず重要と判断される点をお寄せください。

ありがとうございます！

送付先： Bang & Olufsen a/s
Customer Service
dept. 7210
Peter Bangs Vej 15
DK-7600 Struer

またはファックス：Bang & Olufsen
Customer Service
+45 97 85 39 11（ファックス）

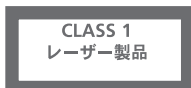
または e-mail：beoinfo1@bang-olufsen.dk

弊社ウェブサイト...
www.bang-olufsen.com

技術仕様、製品の特徴、使用方法などは、事前の予告なく変更されることがありますので予めご了承ください。



当製品は EEU directives 89/336 および 73/23 を全て満たしています。



CD プレーヤーに付けられた黒と黄色のラベルは装置にレーザーシステムが含まれており、class 1 のレーザー製品として等級付けられていることを示します。CD プレーヤーに問題が生じた場合は、バング & オルフセン販売店にご連絡ください。資格のある専門家以外の方は、決して装置を開けないでください。



警告：これらの指示に従わずに対処・調整・処置を行った場合、危険な放射線が放射される可能性があります。

ハードディスクの破損によるデータの損失に対しては、バング & オルフセンは一切の責任を負い兼ねますので予めご了承ください。

